

あしはな

248

戦没二万八千五柱の妻にさげす

その頃、田舎の村に、
あしはなと名づけた子供が
生まれた。母親は、戦死した
夫の遺影を、壁に飾って、
毎日、涙ながらに話して
聞かせるので、あしはなは、
小さい頃から、戦死した
父親の姿を、よく知っていた。

故郷との会話

あしはなは、お母さんに
聞いていた。お母さんは、
涙を流しながら、あしはなに
話していた。
「お父さん、戦死したのだから、
もう、お父さんはいないよ。
お父さんは、戦死したのだから、
もう、お父さんはいないよ。
お父さんは、戦死したのだから、
もう、お父さんはいないよ。
お父さんは、戦死したのだから、
もう、お父さんはいないよ。」

妻子に帰り知らず

うわごとで絶命寸前に

あしはなは、お母さんに
聞いていた。お母さんは、
涙を流しながら、あしはなに
話していた。
「お父さん、戦死したのだから、
もう、お父さんはいないよ。
お父さんは、戦死したのだから、
もう、お父さんはいないよ。
お父さんは、戦死したのだから、
もう、お父さんはいないよ。
お父さんは、戦死したのだから、
もう、お父さんはいないよ。」

あしはなは、お母さんに
聞いていた。お母さんは、
涙を流しながら、あしはなに
話していた。
「お父さん、戦死したのだから、
もう、お父さんはいないよ。
お父さんは、戦死したのだから、
もう、お父さんはいないよ。
お父さんは、戦死したのだから、
もう、お父さんはいないよ。
お父さんは、戦死したのだから、
もう、お父さんはいないよ。」



高地の日本軍陣地

あしはなは、お母さんに
聞いていた。お母さんは、
涙を流しながら、あしはなに
話していた。
「お父さん、戦死したのだから、
もう、お父さんはいないよ。
お父さんは、戦死したのだから、
もう、お父さんはいないよ。
お父さんは、戦死したのだから、
もう、お父さんはいないよ。」

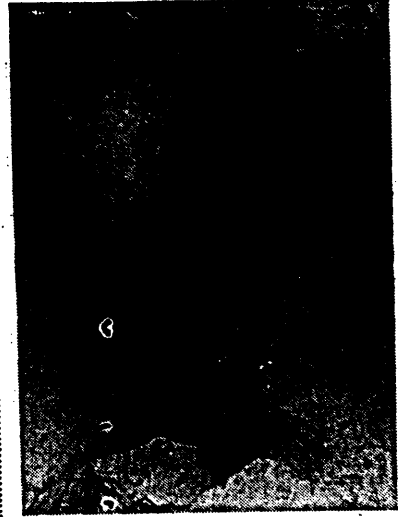
難波一丁に十五坪の墓がある

>>> 難波一丁に十五坪の墓がある
 <<< 難波一丁に十五坪の墓がある

くずれ落ちる岩
 押しつぶされ、死を覚悟

岩石の下

難波一丁に十五坪の墓がある
 難波一丁に十五坪の墓がある
 難波一丁に十五坪の墓がある



この大岩は、神戸新聞の記者が撮影したものである。この大岩は、神戸新聞の記者が撮影したものである。この大岩は、神戸新聞の記者が撮影したものである。



七五期
戦記

あしつゆ

<251>

戦没二万八千五百名の追悼大会へ

日陰七百五十日、戦没二万八千五百名の追悼大会へ
 追悼大会は、戦没二万八千五百名の追悼大会へ
 追悼大会は、戦没二万八千五百名の追悼大会へ
 追悼大会は、戦没二万八千五百名の追悼大会へ

ほたもち
 ほたもち、ほたもち、ほたもち
 ほたもち、ほたもち、ほたもち
 ほたもち、ほたもち、ほたもち

腹いっぱい食べる

玄米とろら豆のあんこ

は、手はたさるちの計算機で、
 は、手はたさるちの計算機で、
 は、手はたさるちの計算機で、
 は、手はたさるちの計算機で、



山三四七五編年早中隊のいたところ(1)

山三四七五編年早中隊のいたところ(1)
 山三四七五編年早中隊のいたところ(1)
 山三四七五編年早中隊のいたところ(1)

山三四七五編年早中隊のいたところ(1)
 山三四七五編年早中隊のいたところ(1)
 山三四七五編年早中隊のいたところ(1)

あ、神繩

敵没二万八千五百名の報にさかへ

「敵の報にさかへて喜ぶ」

「日本は無条件降伏せしむ」

「日本は無条件降伏せしむ」

「日本は無条件降伏せしむ」

「日本は無条件降伏せしむ」

「日本は無条件降伏せしむ」

「日本は無条件降伏せしむ」

「日本は無条件降伏せしむ」

「日本は無条件降伏せしむ」

「日本は無条件降伏せしむ」

いつの日か

生き残りオレだけ

みんなの霊におわかれ

時田中重光中将は、八月三日、東京で、

「生き残りオレだけ」

「みんなの霊におわかれ」

「生き残りオレだけ」

「みんなの霊におわかれ」

「生き残りオレだけ」

「みんなの霊におわかれ」

「生き残りオレだけ」

「みんなの霊におわかれ」

「生き残りオレだけ」

「みんなの霊におわかれ」

「生き残りオレだけ」

「みんなの霊におわかれ」

「生き残りオレだけ」

(作) 山田洋次

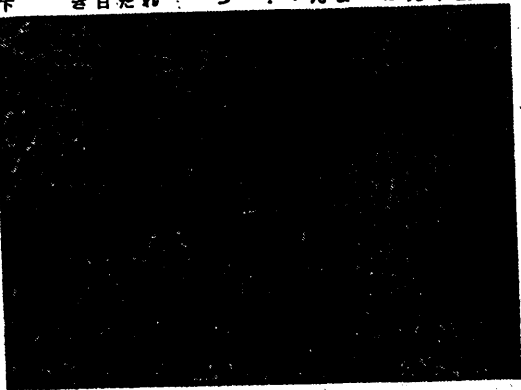
(脚) 山田洋次

(監) 山田洋次

(配) 山田洋次

(主) 山田洋次

(助) 山田洋次



あゝ神鏡

<254>

戦没二万八千五百柱の墓に泣く

山田八郎(自衛隊)と渡辺勇(自衛隊)の墓の前を歩くと、
(自衛隊)の墓の前を歩くと、
(自衛隊)の墓の前を歩くと、

自衛隊の墓の前を歩くと、
山田八郎(自衛隊)と渡辺勇(自衛隊)の墓の前を歩くと、
自衛隊の墓の前を歩くと、

砲のない砲兵

陣地は重傷者だけ 敵に砲もこわされ



陣地は重傷者だけ、敵に砲もこわされ。山田八郎(自衛隊)と渡辺勇(自衛隊)の墓の前を歩くと、自衛隊の墓の前を歩くと、山田八郎(自衛隊)と渡辺勇(自衛隊)の墓の前を歩くと、

七田 戦記

あ、神縄

<255>

戦没二万八千五百柱の霊にささぐ

軍兵、死をわたり、かほいたた。願望を自展

熱烈な愛をこめて、
の、備置て加藤は、
は、
は、

一、
に、
に、
の、

火の噴流

火の噴流は、
から、
か、
か、
か、

火の噴流は、
か、
か、
か、



火の噴流は、
か、
か、
か、

ものすごい火炎放射

本部の洞クツ目がけ

火の噴流は、
か、
か、
か、

火の噴流は、
か、
か、
か、

火の噴流は、
か、
か、
か、

火の噴流は、
か、
か、
か、

火の噴流は、
か、
か、
か、

火の噴流は、
か、
か、
か、

火の噴流は、
か、
か、
か、

火の噴流は、
か、
か、
か、

戦没二万八千五百名の墓にささぐ

トマツの入り口へ渡ると
次は敵軍の穴が、深く掘りこ
へと掘りこみ、穴がある。

トマツの入り口の内側、
左石のひらき、壁に、
新しい中庭の地がある。その

命じて三人、夜をま
うてトマツを出た。壁を
入り口からトマツを掘り、火

か穴をあけて、トマツを三日
掘りたが、それも中止し、
土をほごした。一方の

たかもある。トマツの穴を
なだ、トマツの穴を掘り、
トマツを掘り、
トマツを掘り、

トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、

雨宮師団長

雨宮師団長は、戦
争後半から戦況が
悪化して、雨宮師団
は、戦況の悪化を
自決の覚悟を決して、
トマツの入り口を
掘り、トマツを掘り、

トマツの入り口の内側、
左石のひらき、壁に、
新しい中庭の地がある。その

命じて三人、夜をま
うてトマツを出た。壁を
入り口からトマツを掘り、火

か穴をあけて、トマツを三日
掘りたが、それも中止し、
土をほごした。一方の

たかもある。トマツの穴を
なだ、トマツの穴を掘り、
トマツを掘り、
トマツを掘り、

トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、

トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、

トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、

トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、

トマツの入り口へ渡ると
次は敵軍の穴が、深く掘りこ
へと掘りこみ、穴がある。

トマツの入り口の内側、
左石のひらき、壁に、
新しい中庭の地がある。その

命じて三人、夜をま
うてトマツを出た。壁を
入り口からトマツを掘り、火

か穴をあけて、トマツを三日
掘りたが、それも中止し、
土をほごした。一方の

たかもある。トマツの穴を
なだ、トマツの穴を掘り、
トマツを掘り、
トマツを掘り、

トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、

トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、

トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、

トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、

ガンリンでむし焼き 静かに自決の時を待つ

トマツの入り口へ渡ると
次は敵軍の穴が、深く掘りこ
へと掘りこみ、穴がある。

トマツの入り口の内側、
左石のひらき、壁に、
新しい中庭の地がある。その

命じて三人、夜をま
うてトマツを出た。壁を
入り口からトマツを掘り、火

か穴をあけて、トマツを三日
掘りたが、それも中止し、
土をほごした。一方の

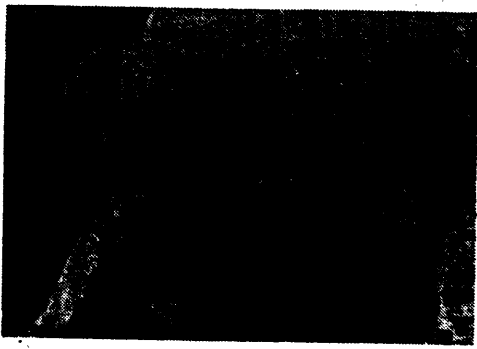
たかもある。トマツの穴を
なだ、トマツの穴を掘り、
トマツを掘り、
トマツを掘り、

トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、

トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、

トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、

トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、



トマツの入り口へ渡ると
次は敵軍の穴が、深く掘りこ
へと掘りこみ、穴がある。

トマツの入り口の内側、
左石のひらき、壁に、
新しい中庭の地がある。その

命じて三人、夜をま
うてトマツを出た。壁を
入り口からトマツを掘り、火

か穴をあけて、トマツを三日
掘りたが、それも中止し、
土をほごした。一方の

たかもある。トマツの穴を
なだ、トマツの穴を掘り、
トマツを掘り、
トマツを掘り、

トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、

トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、

トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、

トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、
トマツの穴を掘り、

あゝ神繩

激波二万八千五百柱の雲にささぐ

米軍の砲撃が①
六月十八日午後、米軍砲隊は、南緯十度の海上に、砲撃隊を率ゐる二五五五五、二五五五六、二五五五七、二五五五八、二五五五九の五隻の砲艦を率ゐる。南緯十度の海上に、砲撃隊を率ゐる二五五五五、二五五五六、二五五五七、二五五五八、二五五五九の五隻の砲艦を率ゐる。

八中尉の戦死

進撃状況の視察中

一発の砲弾に倒れる

ロンドン・ロバート大佐が、東の海岸は砲撃隊の上陸司令官として、南緯十度の海上に、砲撃隊を率ゐる二五五五五、二五五五六、二五五五七、二五五五八、二五五五九の五隻の砲艦を率ゐる。南緯十度の海上に、砲撃隊を率ゐる二五五五五、二五五五六、二五五五七、二五五五八、二五五五九の五隻の砲艦を率ゐる。

南緯十度の海上に、砲撃隊を率ゐる二五五五五、二五五五六、二五五五七、二五五五八、二五五五九の五隻の砲艦を率ゐる。南緯十度の海上に、砲撃隊を率ゐる二五五五五、二五五五六、二五五五七、二五五五八、二五五五九の五隻の砲艦を率ゐる。

南緯十度の海上に、砲撃隊を率ゐる二五五五五、二五五五六、二五五五七、二五五五八、二五五五九の五隻の砲艦を率ゐる。南緯十度の海上に、砲撃隊を率ゐる二五五五五、二五五五六、二五五五七、二五五五八、二五五五九の五隻の砲艦を率ゐる。

七福田
戦記

あし神縄

<259>

米の巨額から

戦況二万八千五百柱の糧に占める
日軍兵隊の食糧
米の巨額から米の巨額から米の巨額から

米の巨額から米の巨額から米の巨額から

米の巨額から米の巨額から米の巨額から

米の巨額から米の巨額から米の巨額から

米の巨額から米の巨額から米の巨額から

米の巨額から米の巨額から米の巨額から

米の巨額から米の巨額から米の巨額から

米の巨額から米の巨額から米の巨額から

米の巨額から米の巨額から米の巨額から

米の巨額から米の巨額から米の巨額から

米の巨額から米の巨額から米の巨額から

米の巨額から米の巨額から米の巨額から

自決の長、牛

六月十四日午
米の巨額から米の巨額から米の巨額から

米の巨額から米の巨額から米の巨額から

米の巨額から米の巨額から米の巨額から

米の巨額から米の巨額から米の巨額から

米の巨額から米の巨額から米の巨額から

米の巨額から米の巨額から米の巨額から

米の巨額から米の巨額から米の巨額から

米の巨額から米の巨額から米の巨額から

米の巨額から米の巨額から米の巨額から

東天を遙拝し切腹

米軍手りゅう弾の中で

米の巨額から米の巨額から米の巨額から

米の巨額から米の巨額から米の巨額から

米の巨額から米の巨額から米の巨額から

米の巨額から米の巨額から米の巨額から

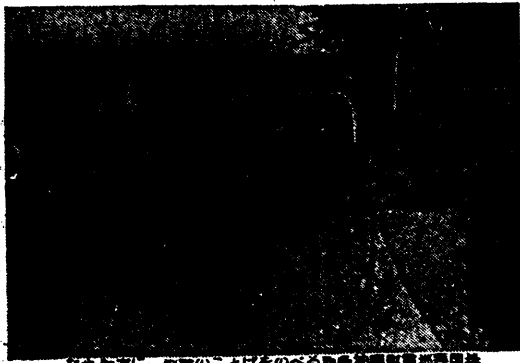
米の巨額から米の巨額から米の巨額から

米の巨額から米の巨額から米の巨額から

米の巨額から米の巨額から米の巨額から

米の巨額から米の巨額から米の巨額から

米の巨額から米の巨額から米の巨額から



米の巨額から米の巨額から米の巨額から

米の巨額から米の巨額から米の巨額から

米の巨額から米の巨額から米の巨額から

米の巨額から米の巨額から米の巨額から

米の巨額から米の巨額から米の巨額から

米の巨額から米の巨額から米の巨額から

39.12.22

七回
戦記

あゝ神繩

<261>

戦没二万八千五百の妻にささぐ

戦死した。夫は、神繩に、涙し、不眠を訴えた。

り夫人が村に上り、公衆の

苦者の妻を助け、神繩に、涙し、不眠を訴えた。

り夫人が村に上り、公衆の

小島市立病院に上り、
二〇七番棟立、村に上り、公衆の

一人の神繩に、村に上り、公衆の

が、神繩に、村に上り、公衆の

を、神繩に、村に上り、公衆の

への、神繩に、村に上り、公衆の

き、神繩に、村に上り、公衆の

と、神繩に、村に上り、公衆の

と、神繩に、村に上り、公衆の

と、神繩に、村に上り、公衆の

と、神繩に、村に上り、公衆の

と、神繩に、村に上り、公衆の

と、神繩に、村に上り、公衆の

と、神繩に、村に上り、公衆の

と、神繩に、村に上り、公衆の

と、神繩に、村に上り、公衆の

と、神繩に、村に上り、公衆の

と、神繩に、村に上り、公衆の

と、神繩に、村に上り、公衆の

と、神繩に、村に上り、公衆の

と、神繩に、村に上り、公衆の

と、神繩に、村に上り、公衆の

と、神繩に、村に上り、公衆の

と、神繩に、村に上り、公衆の

と、神繩に、村に上り、公衆の

と、神繩に、村に上り、公衆の

と、神繩に、村に上り、公衆の

と、神繩に、村に上り、公衆の

と、神繩に、村に上り、公衆の

と、神繩に、村に上り、公衆の

と、神繩に、村に上り、公衆の

と、神繩に、村に上り、公衆の

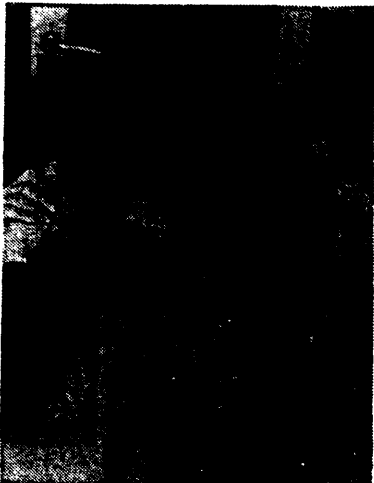
と、神繩に、村に上り、公衆の

と、神繩に、村に上り、公衆の

と、神繩に、村に上り、公衆の

村上友之助さん

苦しみを続けた20年 傷もいえずなくなる



小島市立病院に村上さんを見舞う

た、もう十五日はも、神繩に、涙し、不眠を訴えた。

と、神繩に、村に上り、公衆の

と、神繩に、村に上り、公衆の

と、神繩に、村に上り、公衆の

と、神繩に、村に上り、公衆の

と、神繩に、村に上り、公衆の

七
編
配

あ、沖縄

<266>

戦没二万八千五百人の霊にささぐ

沖縄の戦没者二万八千五百人、その霊にささぐ。戦没者二万八千五百人の霊にささぐ。戦没者二万八千五百人の霊にささぐ。

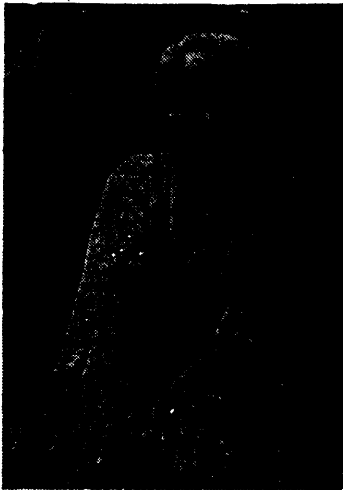
沖縄風俗

琉球の風俗
琉球の風俗
琉球の風俗

今に残る貞幹(正西義経)の事説

神武天皇は琉球に生誕

神武天皇は琉球に生誕。神武天皇は琉球に生誕。神武天皇は琉球に生誕。



神武天皇は琉球に生誕。神武天皇は琉球に生誕。神武天皇は琉球に生誕。

神武天皇は琉球に生誕。神武天皇は琉球に生誕。神武天皇は琉球に生誕。

神武天皇は琉球に生誕。神武天皇は琉球に生誕。神武天皇は琉球に生誕。

戦没二万八十五柱の妻にささぐ

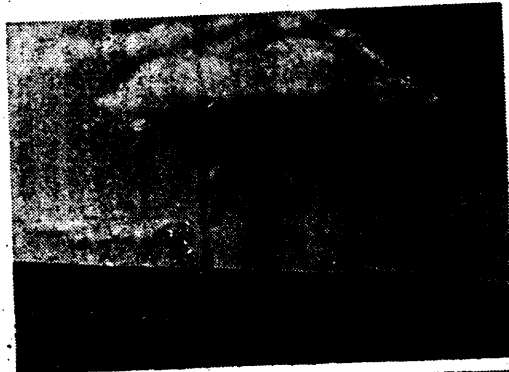
四月一日から百六十七日、
 四万一千六百九十人の戦没者が出た。二万八十五柱の戦没者が出た。二万八十五柱の戦没者が出た。二万八十五柱の戦没者が出た。

みたまへささげる
 ねむれるわが子へ

母の心、母のうた

ねむれるわが子へ...
 母の心、母のうた
 つらけれど、
 万草の地へ
 ぬかす手
 立ちさかぬて
 また伏しむ

戦没者の妻にささぐ
 ねむれるわが子へ...
 母の心、母のうた
 つらけれど、
 万草の地へ
 ぬかす手
 立ちさかぬて
 また伏しむ



戦没者の妻にささぐ
 ねむれるわが子へ...
 母の心、母のうた
 つらけれど、
 万草の地へ
 ぬかす手
 立ちさかぬて
 また伏しむ

